

(様式2)

学校関係者評価報告書

西条高等学校 全日制・定時制

学校番号(9)

評価実施日	令和 4年 2月21日(月)		
委員	氏名	所属等	備考
	年森 恭子	愛媛県教育会評議員	
	田口 孝宣	西条市中学校 校長	
	曾我部 保次	西条市総合文化会館 館長	
	高橋 宏幸	P T A会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>〈全日制〉</p> <ul style="list-style-type: none">・学校評価アンケートについて 課題研究活動について生徒の意識が非常に高い。課題研究の成果は大学入試につながるものであるから、更なる課題研究活動の活性化を期待したい。・読書指導の充実に改善がみられる。学力の基礎となるものだが、どのような活動や取組をしたのか。・業務改善について SSH事業の取組、進路状況、部活動など成果が学校全体に現れてきているが、多くの課題に対応している教職員の負荷が危惧される。教職員の働き方の課題解決に取り組まれない。・ICTを活用した学習活動について コロナ禍で多くの活動が制限される中、ICTを活用した学習活動の更なる推進を期待したい。 <p>〈定時制〉</p> <ul style="list-style-type: none">・教育活動診断結果(生徒)から、個を大切にする居場所作りに成功していると思われる。より一層自己肯定感を高める教育活動の実践に期待する。・資格取得に対する意欲を一層高める必要がある。・学校行事の充実とともに、入学生確保に向け、中学校、関係諸機関等への訪問等に期待したい。	<p>〈全日制〉</p> <ul style="list-style-type: none">・SSH事業を通じてプレゼン力や質疑応答力が向上して、生徒自身が自己の成長を実感しているようである。進路希望に対応した課題研究に取り組ませる。・新書版を中心とした新規図書を購入を促進し、進路につながる図書コーナー(葵文庫)を充実させた。知的書評合戦(ビブリオバトル)などの図書委員会活動の更なる充実を図る。・SSH事業の課題研究や進路指導のため、教職員の負担となっているが、事業内容を改め、仕事の効率化を図るなど、勤務時間の軽減に努める。・コロナ禍の中でも、Zoomを活用したオンライン授業の研究など、ICTを活用した授業力の向上に努める。 <p>〈定時制〉</p> <ul style="list-style-type: none">・登校指導時等の言葉掛けに加え、進路に応じた個別指導も充実させていく。・校内での受験機会を増やしたい。・夏季休業中、秋季休業日などを利用し、訪問回数を増やしていく。